

# 足羽川桜づつみ協議会 報 告 書



協議結果による堤防下からの景観イメージ（植栽 10 年後）

平成 19 年 9 月  
桜づつみ協議会

## はじめに

足羽川左岸堤防の桜については、平成17年度に開催した「足羽川河川環境整備検討会」から、堤防の安全性を考慮して、堤防の断面外に移植する必要があるという提言が出された。

この提言を受けて、福井県と福井市は、検討を重ねた結果、住宅側に盛土してできるスペースに桜を植えることにより、桜並木を保全することを決め、桜堤の実施計画を策定することにした。

「足羽川桜つつみ協議会」は、現在進めている足羽川河川激甚災害対策特別緊急事業における堤防強化工事に伴い、予定している桜堤整備についての具体的な実施計画を策定するために、学識経験者や地域住民、一般住民の方の意見を聞く場として、福井県と福井市が設置したものである。

協議会では、植栽計画、施設計画、維持管理等について、計4回にわたる議論を重ねた。とりまとめの結果、桜のトンネルに代わる新しい魅力づくりとして、“多様な品種の桜を植栽して長い期間花を楽しめる桜堤”とする方向に決定した。

植栽する桜については、福井の気象条件等を考慮し、品種や配置などを、擁壁については、地域住民の意見を踏まえ、高さなどの検討を行った。さらに、今後の維持管理については、“既存の市民団体や地域住民を中心にしたネットワーク組織を立ち上げ、行政と協力して桜の維持管理体制をつくる”ことで一致した。

本報告書は、沿川住民や一般住民の意見を踏まえた上で、新しい桜並木の整備計画を提案するものであり、官民の協力体制の中、桜堤の適切な維持管理ができることを強く期待するものである。そして、足羽川が市民の身近で親しみのある川となり、新しい桜並木が足羽川を楽しむ場の一つとして、愛され続けることを、切に願うものである。

平成19年9月  
足羽川桜つつみ協議会

足羽川桜つつみ協議会委員名簿

区分	氏名	役職	備考
学識経験者	薬袋 奈美子	福井大学 建築建設工学科 講師 (専門：都市計画)	委員長
	今井 三千穂	総合グリーンセンター 樹木医 (専門：林学)	
	内藤 汎	福井市都市景観審議会 委員 (専門：景観)	
河川愛護団体	朝倉 邦真	(社)福井青年会議所	
	石川 裕夏	福井商工会議所 青年部	
	中山 重成	桜並木を守る会 代表	
	橋本 浩	(財)福井観光コンベンション協会	
	平井 博政	NPO法人ドラゴンリバー交流会	
利一般者	上村 祥代	一般公募 (福井大学)	
	松下 幸男	一般公募 (毛矢五の組自治会長)	
足羽地区代表者	荒井 證次	足羽子ども会育成会 会長	
	藤井 富士雄	足羽エコ探検隊 隊長	
	安本 暢男	福井南ロータリークラブ	
	吉岡 正博	スリーAクラブ	

# 足羽川桜堤の整備について

## 整備の基本方針

### 足羽川河川環境整備検討会 (H17.9.15~H18.3.16で4回開催)

- 足羽川の整備における自然環境・桜堤・景観等の基本方針について検討
- 堤防定規外へ移植 (トンネル状・一列植栽案)
  - 多様性・多層性植栽の提案
  - 桜堤の整備等については、地域住民との合意形成を図りながら進めていくべき

## 整備実施計画 (県・市)

意見  
提案

### 足羽川桜づつみ協議会

<目的> 学識経験者や関係団体、地区住民代表により、桜堤の実施計画案に対する意見や提案について協議を行う。

学識経験者  
関係団体  
地域代表



- 擁壁の高さの検討
- 多様性植栽の検討
- 維持管理体制の検討
- 桜の有効利用の検討
- その他の施設の検討

### 地元説明会・ワークショップ

<目的> 地元住民に桜に関する情報を提供し、知識を深めてもらうとともに、広く意見を聞き計画に反映させる。

沿川住民意見

- ・道路幅の減少に反対
- ・高い擁壁は圧迫感があり反対
- ・清掃する住民の高齢化



## 市政広報「FUKUI」

市民意見  
・提案

### アンケート・フォーラム

<目的> 一般住民に桜に関する情報を提供し、知識を深めてもらうとともに、広く意見を聞き計画に反映させる。

一般住民意見

- ・桜並木の存続を望む
- ・新たな桜の若木の植栽を望む
- ・桜の種類を工夫し、長く楽しめると良い



実際の  
植栽イメージ

### 試験施工 (JR橋~木田橋)

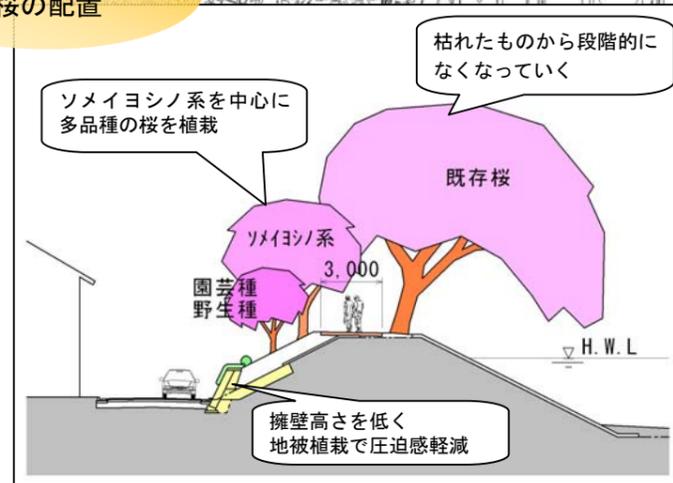
- <目的>
- ・移植木を含めた景観や新植した若木の状態を住民に見てもらう場を提供する。
  - ・植栽工事における設計、施工上の課題を把握する。



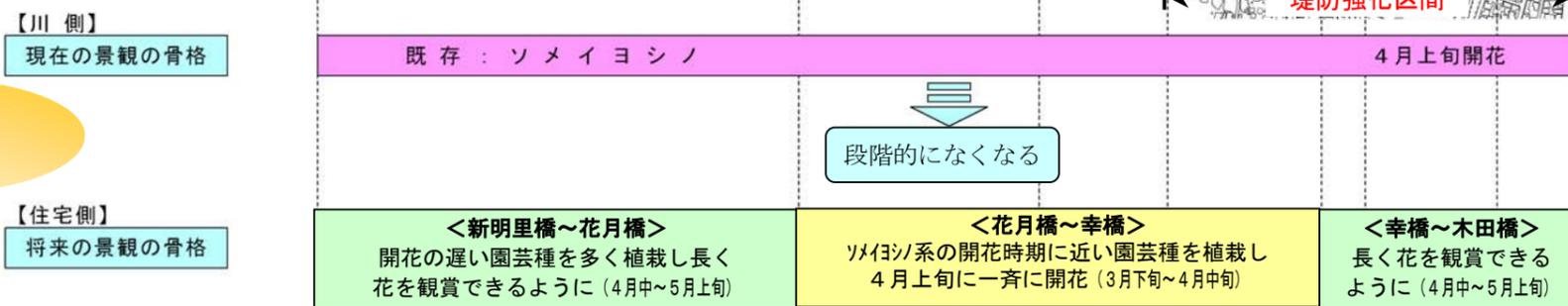
# 桜づつみ協議会での検討結果

- 桜の植栽ゾーニング、品種提案、配置計画（案）  
桜トンネルに代わる新しい魅力として、多様性・多層性を考慮した植栽
- 擁壁高さの検討や圧迫感を軽減する工夫  
沿川住民の意見等をふまえ、擁壁高さを目線以下に圧迫感を軽減するため、擁壁天端に地被植物を配置
- 維持管理体制  
今後の維持管理体制づくり

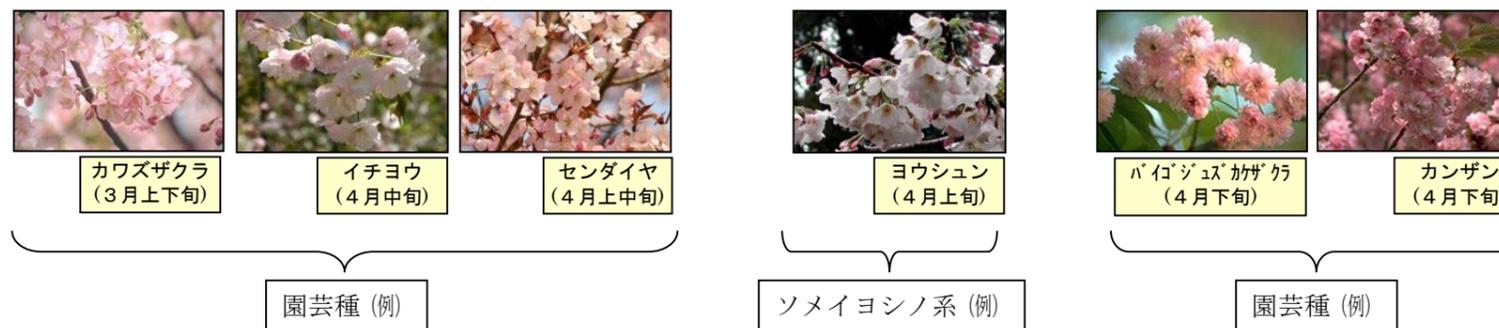
## 擁壁高さ 桜の配置



## 桜の植栽 ゾーニング



## 桜の品種選定



## 景観イメージ



## 今後の維持管理体制づくり (例)

